



代表取締役会長兼社長

川崎博也

早期の黒字化と復配に向けて 全力で取り組むとともに、 素材系事業・機械系事業・電力事業の 3本柱による安定収益基盤の確立と 成長戦略を積極的に進めてまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

当期の業績と配当について

当社グループの当期の業績につきましては、後述の「業績のご報告」でご説明しておりますとおり、鉄鋼事業において高炉改修の一時費用を計上したことおよび建設機械の中国事業において滞留債権等に係る引当金を追加計上したことなどから、二期連続での最終損益の赤字を余儀なくされました。

当期の配当につきましては、業績や今後の成長に向けた戦略投資への資金需要などを総合的に考慮した結果、誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。株主の皆様には、多大なご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜わりますようお願い申し上げます。

今後の取組みについて

当社グループが足下で取り組むべき最大の課題は、二期連続での大幅な赤字の計上の要因となった鉄鋼事業および建設機械事業の収益構造改革であると認識しております。

まず、鉄鋼事業では、「2016～2020年度グループ中期経営計画」で掲げた収益力強化策の推進、特にその中心となる、鋼材生産の上工程の加古川製鉄所への集約について、平成29年度内の完遂と円滑な立上げに向けて全力で取り組んでまいります。また、建設機械事業では、収益悪化の主要因であった中国事業において、当社主導での販売体制の見直しと生産体制の再編により、早期の収益力強化を図ってまいります。

一方で、素材系事業、機械系事業、電力事業を3本柱とした成長戦略を一層深化させ、盤石な事業体を確立させると

いう中長期経営ビジョン「KOBELCO VISION “G+”」の実現に向けた取組みも並行して進めてまいります。

具体的には「輸送機の軽量化」と「エネルギー・インフラ分野」の2つをターゲットに位置づけ、積極的に事業展開を進めております。例えば、本年5月には自動車用アルミパネル材の需要拡大に対応するため、アルミ母材の供給基地としてアルミ圧延の世界大手と合併会社設立に合意したほか、機械系事業では、エネルギー・インフラ分野をターゲットに事業戦略を進めているほか、スウェーデンのプレス装置の世界大手メーカーを買収するなど、将来の成長を支える事業基盤構築に向けた投資を積極的に進めており、今後も気を緩めることなく取り組んでまいります。

「KOBELCOの約束・Next100プロジェクト」

当社グループでは、中期経営計画の実現に向けた大型プロジェクトが本格的な実行段階に入ります。このような中、事業計画の完遂と企業価値の向上を目指すには、あらためて当社グループ社員一同が一体となることが必要と考え、「KOBELCOの約束・Next100プロジェクト」を本年4月にスタートいたしました。これは、次の100年に向けて、当社グループの企業理念を社員一人ひとりがあらためて誓い、具体的な行動に結びつけ実現させていく活動であり、現在、私自身が各事業拠点を訪問し全ての従業員に語りかけることから始めております。

当社グループは、早期黒字化と復配に向けて全力で取り組むとともに、素材系事業・機械系事業・電力事業の3本柱による安定収益基盤の確立と成長戦略を積極的に進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。